

平成28年度 国立第五小学校 研究成果報告会

問題解決を通して

思考力・判断力・表現力等を高める子

～チャレンジ、新しいとびらを開こう！～



言語能力向上拠点校として

言葉の力の育成

I 読書活動の推進、学校図書館の活用

○図書委員会による読書月間の企画

♪分類ビンゴ ♪ミニ・ビブリオバトル ♪題名de50音

○「おすすめの本」

♪1人1冊(教員も)

♪図書部選出のおすすめ100冊(低中高)



II 言葉による表現活動

○委員会活動

♪集会委員会 ♪保健給食委員会

○学校行事

♪ミュージカルワークショップ ♪学芸会

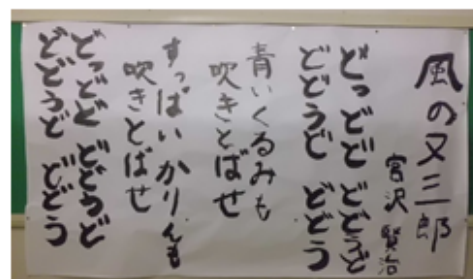


III 美しい日本語を身に付ける

○「今月の詩」の群読

○外部講師による

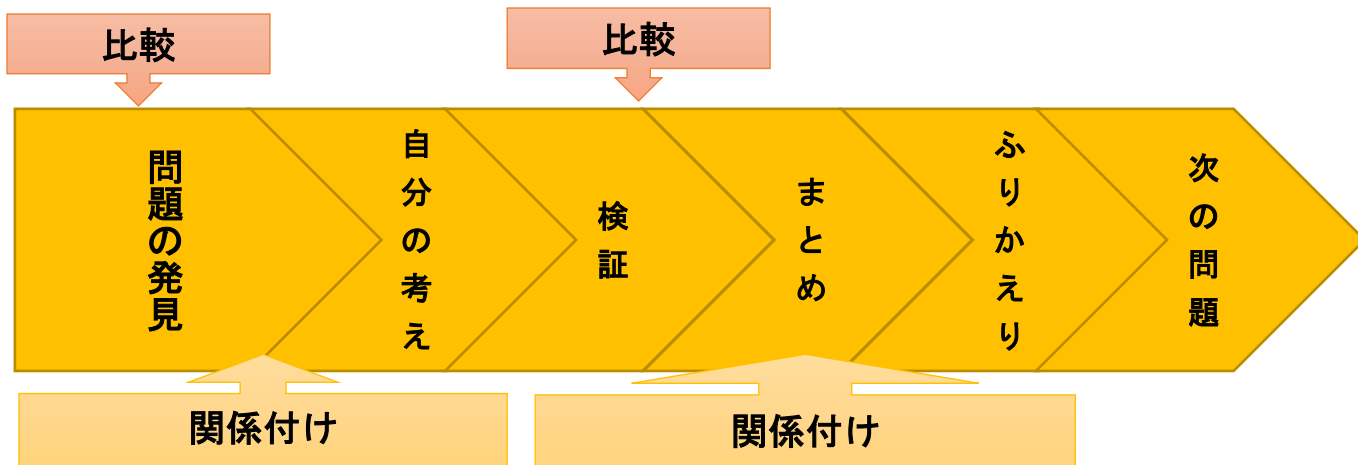
「美しい日本語の話し方教室」(6年)



・前年度までの研究について

本校では、長期にわたり、「くにごメソッド」と呼ばれる指導法を構築し、伝承・研究を行ってきました。

昨年度の研究を通して、授業で問題を作ったり解決したりする際、子供たちが考えるきっかけとして「比較」が機能していることがわかりました。そして、「関係付け」は、「比較」をきっかけに行われることが明らかになりました。また、クラス全体でこれらの発見を共有するため、より質の高い考察のために説明する活動を通して、思考力と共に表現力も高められるものと考えました。



・今年度の研究について

これらの研究を受けて、今年度は次の3つを柱として授業研究に取り組みました。

- ①比較・関係付け，くにごメソッドを軸とした授業の質の向上
- ②様々な教科における「比較・関係付け」授業の効果の検証
- ③くにごメソッドの継承および価値の振り返り

・今年度の指導実践についての報告

実践① つくし学級 生活単元学習「電気の通り道」

この学習では身近な所に電気が使われていることから、豆電球のつく導線のつなぎ方や、電気を通す素材について、上手くいく場合といかない場合を比べながら、電気を通す条件について学んでいきます。

前とつなぎ方が違うな。似ているつなぎ方だからつくと思う。

比べてみよう
電気が通ったつなぎ方と違うつなぎ方

出っ張っているところ（＋極）につながっていないからつかないと思うな。

関係付けよう
電気を通すつなぎ方

＋極と－極をつながないと豆電球は光らないんだね。

導線が輪っかのようになっていないといけないのね。

実践② 第2学年生活科 「どきどきわくわく まちたんけん」

この学習では、自分たちがたんけんで見つけたことを発表して、住んでいるまちの良い所に気付いたり、不思議な所を見つけたりします。

「まちたんけんで見つけた「とっておき」をみんなに教えよう！」

比べてみよう！

自分の探検した場所と
友だちが探検した場所

わたしたちが探
検したところと
様子が違うね！

緑コースはお店がたく
さんだったけれど、
ピンクコースは家がた
くさんあるね。

さくら通りにはお店が多
くあっていいな！！
○くんは「車がたくさん
通る」って言うていた
けど、関係あるのかな？

ふしぎな家があるんだな。
今度行ってみたいな。

関係付けよう！

自分たちの住んでいる
まちのいいところ

ぼくは気付かなかったけ
ど、公園があるんだね。

実践③ 第3学年 算数科「かけ算の筆算を考えよう」

この学習では、学んだことを活用して、かける数が2けたのときの筆算の方法を考えます。

「1こ12円のチョコレートがあります。このチョコレートを28こ買った時のねだんはいくらでしょう？」

比べてみよう！
これまでに学習したかけ算の学習
と本時の問題

かける数が何十だと楽に
計算できるから…

かける数が大きい時も
位ごとに計算すれば簡
単に計算できるね。

前に4こ分のねだんを求め
たから…28こは4の何倍
かな？（割合で考える）

たし算を使うと求められるけど、
もっといい方法はないかな？

分け方を工夫する
と、楽に計算する
ことができる

関係付けよう！
計算の仕方

実践④ 第4学年音楽科 「せんりつの重なりを感じ取ろう」

この学習では、旋律の重なりを学習し始めた4年生が「もみじ」の2部合唱に挑戦しました。2部合唱を完成させるために、今まで習ったことを思い出して学習を進めていきます。

成功させる秘訣は・・・
正しい音・声の出し方・バランス

前半は追いかけて歌い、
後半は追いついて音が重
なるから、盛り上がった
感じがするね。その部分
に気持ちを込めよう！



関係付けよう！
つられずに音を合わせる方法

比べてみよう！

曲の前半と後半の旋律では、ソプラノと
アルトの音の重なり方が違うよ。

♪松を彩る～♪の部分は、始業に
歌う「ハロー」と同じ一個飛ばし
(3度)の音の関係と同じだよ。

実践⑤ 第5学年理科 「電流が生み出す力」

この学習では、導線に流れた電流が磁力をもつことを利用した電磁石について、その強さの変化や要因を調べることを通して、電流のはたらきについて明らかにしていきます。

「電磁石って、どうすれば強くなるんだろう？」

比べてみよう！
4年生の電気の学習と今回の問題



初めて見た電磁石
は、人がぶら下がれ
るくらい強かった
ね。

関係付けよう！
電池のつなぎ方と豆電球の明るさ
の関係



電池を直列つなぎにする
と豆電球が明るくなった
から、電磁石も強くなる
と思うよ。

どんな実験で
確かめられる
かな？

比べてみよう！
前の実験と今回の実験

前回の実験は巻き数だけを変える条件に
したから、今回は電流の強さだけを変え
るようにすれば調べられるよ。

・研究の成果と課題

①昨年度の成果から、視点を焦点化して授業研究を展開することができました。

②生活科では「まちたんけん」、「もうすぐ2ねんせい」の研究授業を行いました。「比較・関係付け」による授業構成は、かえって授業の流れを複雑にしてしまう傾向が見られました。そしてどの教科でも必要に応じて「比較」という手法を用いることが有効な場面が考えられますが、常に取り入れることは難しいことや主に理科や算数のなどの科学的な学習の展開などに役立つことがわかりました。

③教員の入れ替わりがある中で、「くにごメソッド」の継承が課題になってきましたが、研究授業後の協議会から、「くにごメソッド」の目指した見方・考え方を共有することができました。さらに、現在議論されている新学習指導要領で求められる資質・能力の育成に、「くにごメソッド」がどれだけ役立つかについて検討しました。そこでわかったことを以下に示します。

「あれ？なぜ？こっちは〇〇なのに...」
児童自身が問題を解決したいと思って学習を進めていく。(比較)

メソッド① 複数事象の比較から問題作りをさせる

メソッド② 根拠立てて仮説設定させる

自分の知識の中で問題に関係しているものを選び仮説を立てることで、思考力・表現力および確かな知識を獲得していく。(関係付け)

メソッド③ 観察・実験の結果を予想させる

メソッド④ 結果の予想と実際の結果との関係から

結論を出させる

実験から結論を出す活動で科学的な見方・考え方を養っていく。他の人が納得するような根拠を見つけ、筋道立てて説明する力を養っていくことが期待できる。(比較・関係付け)

メソッド⑤ 個人の結論からクラスの結論へと妥当性を

高めさせる

メソッド⑥ 結論にさらに考察を加えさせる

メソッド⑦ 見つけたきまりや知識の適用範囲を広げさせる

「問題作り～結論」の全体を振り返ったり、新しく分かった見方で日常生活を見直したりすることで、身に付けたことを活用しようという態度や活用する能力を養っていく。(関係付け)

このように、「くにごメソッド」を活用し、「比較・関係付け」の視点で授業を設計することで、新しい学習指導要領が目指す「主体的・対話的な深い学び」(アクティブ・ラーニング)が実現するものと考えられます。また、メソッド⑥・⑦から新しい学習課題が生じることもあり、学びに連続性をもたせることも考えられます。「くにごメソッド」は今後、求められる資質・能力をも育む可能性があることがわかりました。

今後は、全ての教員による「くにごメソッド」の体得・継承が課題となります。また、他教科においても、理科と同様に、資質・能力の育成を見据えた授業が展開できるように、研鑽を積んでまいります。